

白石市制施行60周年記念式典



1 オープニングコンサートでパイプオルガンを演奏する吉村昌美さん 2 国歌斉唱をする白石キューブ合唱団の皆さん 3 市民を代表して挨拶をする保科愨一郎市議会議長 4 祝辞を話す安藤俊威県議会議長 5 祝辞を話す小笠原春一登別市長 6 祝辞を話す内野優海老名市長 7 佐藤英雄市議会前議長の首頭で万歳三唱をする出席の皆さん 8 友好都市の札幌市白石区から出席の谷江篤区長（前列左から6番目）と白石区ふるさと会の皆さん 9 祝賀会で乾杯の音頭を取る鈴木恒秋自治会連合会会長 10 今後のますますの発展を願い階子乗りの妙技を披露する白石市消防団伝統階子乗り隊の皆さん 11 祝賀会披露する若柳梅京伝統芸能振興会副会長 12 祝賀会開会の挨拶をする齋藤昭商工会議所会頭

がら、生きる力を育み、ふるさと白石に誇りをもてるまちづくりを進めるとともに文化交流の促進、国内外へ誘客を行うことと、地域経済の活性化をさらに推し進め「人・暮らし・環境が生きる交流拠点都市」実現を目指してまいいる決意であります。」と式辞を述べました。

また、東日本大震災後、支援をしてくれた登別市・海老名市の両姉妹都市、友好都市の札幌市白石区などの皆さんに感謝の意を表すとともに、市制施行60周年を記念して台湾新竹市との民間レベルの交流が始まるなどを紹介し、絆の大切さを話しました。

記念式典の後には記念祝賀会が開催され、参加者たちは和やかに交流を深めていました。

10月17日、白石市制施行60周年記念式典がホワイトキューブで開催されました。この式典には県内外の市町村長や関係団体の代表者など約320人が出席し、これまでの市の歩みを振り返り、今後のさらなる発展を誓いました。

式典は、パイプオルガンのオープニングコンサートの後、今日の市勢発展に寄与された先人各位に敬意と感謝の意を表すとともに、東日本大震災で亡くなられた方々に対して黙祷をささげて始まりました。

続いて、風間市長が「急激な少子高齢化や人口減少社会の到来など、社会制度の変革が求められる時代となっております。これからの政治の流れは国から地方へ大きく加速され、基礎自治体の責任は今まで以上に大きくなると思われまます。本市は、豊かな自然環境と、誇るべき歴史・伝統・文化を背景に、社会資本の整備と産業基盤整備を行い『共汗・共学・共生』を基本理念とし、市民総参加によるまちづくりを目指して『こころ豊かなふるさと白石』の実現に努めてまいりました。今後は、これまでの市制60年の歩みを糧として『市民がともに支え合いな